

人権は“当たり前”じゃなかった！

歴史上、人々が「人権」を持ってる時代はごく最近になってから。

長い人類の歴史の中では、身分や権力の上の者が下の者を**“モノ”同然**に扱うことが普通だった。

そして人々は権力者との戦いの果てに権利を獲得した。やっと色んなことができるようになったんだ。



みんなが“モノ”を使う時、どんな風に使う？

はさみを使う時、「ハサミさん、使っていいかな？」なんて聞かないよね？コップをうっかり落っことして割っちゃっても「あーあ。また新しいの買おう」で終わりだよ。

それを人に置き換えてみたら、とんでもない事になる！

江戸時代、武士には「切り捨て御免」っていう特権があった。

下の身分の者が**“無礼な”態度**を取った時は、**刀で切ってもいい**という特権だ(￣ロ￣;))

王様は人々を軍隊に取り入れて、戦争に使うことができたし、反抗する者を自由に処罰することができた。

王様だけじゃない。つい最近まで世界には**奴隷制度**と言う制度があつて、**人が人間を物のように売り買い**していたんだ。

これってみんなが自由にモノを使って、捨てて、ってしてるのと変わらないでしょ？人権が無いと大変なことになるんだ。